



校章【五稜】

学校だより

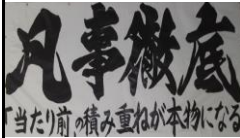
# 「チーム中部中」



五稜戦隊チュウブレんジャー

令和4年度11月号  
No.8

文責  
平戸市立中部中学校  
校長 甲斐田 彰



「当たり前」積み重ねが本物になる

## 校訓：自主 規律 責任

学校教育目標：ゆたかな心情 たしかな学力 たくましい心身



### 【帰りたくなくなりました】

11月15日（火）3年生が、東和愛児園で保育体験実習を行いました。

3年生はこの日のために、おもちゃづくりや読み聞かせの練習など準備を進めてきました。

当日は天気もよく、お外遊びや室内遊びなどを楽しく行うことができました。

実習を終えた3年生たちは「園児の体力はすごい。」「賢くてよくしゃべる。」「私の方が疲れてぐっすり眠りました。」「子供たちがかわいくて、中学校に帰りたくなくなりました。」など嬉しそうに話していました。



### 【平戸から世界へ】

去年に引き続き、3年生は「全国リズムダンスふれあいコンクール自由振付曲部門」で全国大会出場の切符を手に入れました。

文化祭や越南まつりの圧巻のパフォーマンスを見た方々は、予選突破は確信していたと思いますが、やはりホッとしました。

全国大会は12月26日（月）にオンラインで開催されます。「平戸から世界へ」羽ばたいてくれることでしょう。



### 【安心感と恐怖感】

11月21日（月）1年生が、車いす・アイマスク体験を行いました。

社会福祉協議会の方を講師にお招きし、体育館から教室までアイマスクを付けて誘導してもらったり、正面玄関から正門までの坂を車いすで往復したりしました。

初めて体験する生徒も多かったのですが「怖かったけど**安心感**がありました。」「坂を下るときは後ろ向きになるので、安定はするけど**恐怖感**もありました。」など率直な感想を聞くことができました。

互いに支えあうことの大切さを感じることができるとる体験学習となりました。



### 【言葉の本当の意味】

11月22日（火）平戸手話サークルの方を講師にお招きし、2年生が手話体験を行いました。

自分の名前や挨拶など結構たくさんの手話を学んだあと、みんなで「サザエさん」と「ビリーブ」を手話を交えて歌いました。

「手話を使うと**言葉の本当の意味**を理解することができる気がする。」「耳が不自由な方とも交流したい。」など前向きな感想が聞かれました。



### 【頑張ればきっといいことがある】

11月28日（月）平戸海関（22歳）が中部中学校を訪問してくれました。

前日まで行われていた九州場所では、10勝5敗と大活躍でしたが、体育館でのインタビューでは「本場所より緊張する」と汗をかきながら真摯に答えてくれる姿に、実直さと誠実さを感じ、ますますファンになりました。

「東和愛児園出身です。」「中学3年の2月14日バレンタインデーの日に平戸を出立し境川部屋へ入門しました。」「入門したころはどんぶり10杯のご飯を食べてました。」「好きな食べ物はオムライス。」「平戸では釣りをするのが楽しみです。」など先輩のいろいろな面を知ることができました。

最後に平戸海関から「**頑張ればきっといいことがある**なので、頑張ってください。」とのメッセージをもらい感動した後輩たちなのでした。

